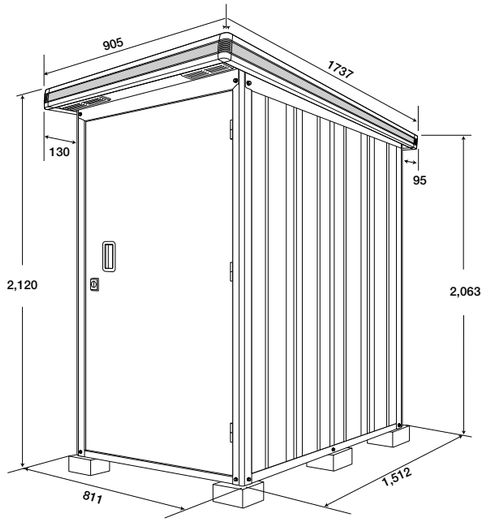
ヨド物置 エルモ
組立説明書 LMC-0815型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



設置場所の制限

⚠注意

- ●建物の屋上には設置しないでください。
- ●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- ●大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- ●屋のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
- ●給湯器の前には設置しないでください。

鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

組立施工の際には

⚠注意

- ●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。

お願い

- ●組立の際には手袋を着用してください。
- ●風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- ●高い足場が必要なときは、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- ●組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。

〈施工にあたって〉

1.まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
2.基礎ブロックは市販のコンクリートブロックを御使用ください。
ブロックの大きさは巾19cm×長さ19cm×厚さ10cmのものが適当です。
3.部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立てしてください。
4.部材は、すべて、鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
5.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
6.部材の組立ては、ボルトの孔を合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。（安全のため必ず手袋を着用してください。）

梱包組合せ表

機種 \ 梱包	部品	前後材	左右材	柱	床	屋根	壁	鼻隠し	扉	棚板	計
0815型	LM4-0102	LM3-0200	LM3-0394	LM3-0403	6-088	LM3-0910	LM3-1015	LM3-1113	LM3-1700	LM3-1901	10

梱包内容表

●部品

LM4-0102 部材名	数量
接続金具後	4
ＥＬＣ棚受Ｎ右	2
ＥＬＣ棚受Ｎ左	2
床押え金具②	6
間柱金具⑤	2
屋根止結金具	3
Ｔ型スパナ	1
⊕ドライバー	1
水準器	1
上枠固定L字アングル	1
小ネジＭ４×１０	3(1)
蝶番Ｂ	3
蝶番金具Ｂ	3
ステン⊕皿小ネジM4×14	6
フランジナットＭ６	3(1)
壁パネル止結金具	25(1)
打込みアンカー(L=324)	4
アンカープレートＬ	4
ボルトＭ６×１５（白）	88(3)
アームストッパー	一式
ソフトテープＬ＝８００	2
組立説明書	1
取扱説明書	1
組立チェックシート	1
保証書（二年）	1
機種名ラベル	1

●前後材

LM3-0200 部材名	数量
下枠前・A1（94）	1
下枠・A1（94）	1
ＥＬ上枠前・A1	1
ＥＬＣ上枠後・A1.0	1
はりA1（94）	1

●左右材

LM3-0394 部材名	数量
下枠・A2（94）	2
ＥＬＣ上枠左・A2.0	1
ＥＬＣ上枠右・A2.0（「共用型」ラベル貼付）	1
ＥＬＣ間柱・側中2.0・4.0L	2

●柱

LM3-0403 部材名	数量
ＥＬＣ柱前・４Ｄ右	1
ＥＬＣ柱前・４Ｄ左	1
ＥＬＣ柱後Ｌ	2

●床

6-088 部材名	数量
床板・７２５	4

●屋根

LM3-0910 部材名	数量
ELC屋根板・大・A2.0	1
ELC屋根板・小・A2.0	1
床押え・（94）A2	2

●壁

LM3-1015 部材名	数量
ＥＬＣ壁・Ｌ・Ａ	5

●鼻隠し

LM3-1113 部材名	数量
ELC鼻隠し前A1.0	1
ELC鼻隠し後A1.0	1
ＥＬＣ換気枠	2
取手（大）左	一式

●扉

LM3-1700 部材名	数量
ＥＬＣ扉・４Ｄ	1

●棚

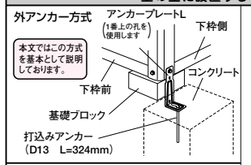
LM3-1901 部材名	数量
ELC棚板・A1.0N	2

○部材名称にはA1.0・A2.0等の記号がついた部材がありますが、これらは部材の長さの記号であり説明書文中では一部省略しております。

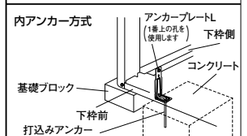
アンカー工事は設置場所によって図のような方法があります。
強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

土の上に設置する場合

外アンカー方式

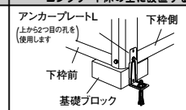


内アンカー方式



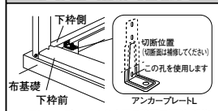
打ち込みアンカーをアンカープレートLの孔に通し、周囲にタテ、ヨコ各々30cm、深さ40cmの穴を掘り、コンクリートを打ち込んで固定します。(4ヶ所)
打ち込みアンカーの頭は、物置本体に向けてください。
※コンクリートは市販品を用意してください。
※高さ15cm以上のブロックを使用する場合は、アンカープレートLまで根巻きを行ってください。

コンクリート床の上に設置する場合



※オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー(M12-70以上で)で固定してください。

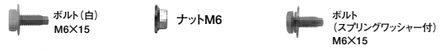
布基礎の上に設置する場合



※アンカープレートLを上図の位置で切断・補修して取り付けます。
市販のアンカーボルトで固定してください。

⚠注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情（基準風速・凍上による不陸など）にあわせて設計・施工してください。

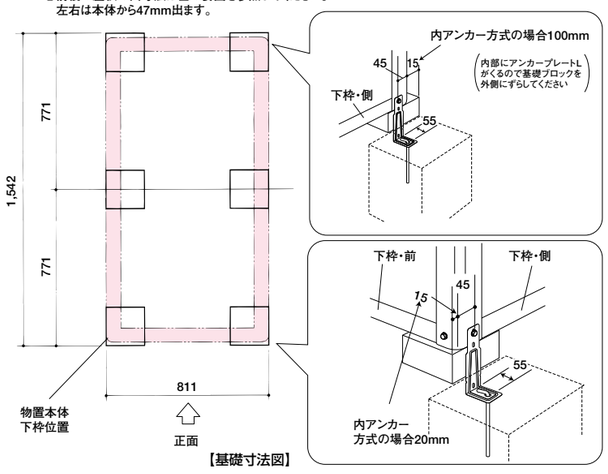
使用ビス一覧



アームストッパー、蝶番は付属のネジを使用してください。

1 基礎寸法について

①基礎ブロックを図の寸法に並べます。【基礎寸法図】
（数字はmm）
◎物置本体と基礎ブロックの関係は、図の通りです。
◎前後の屋根の出寸法は左の姿図を参照してください。
左右は本体から47mm出ます。

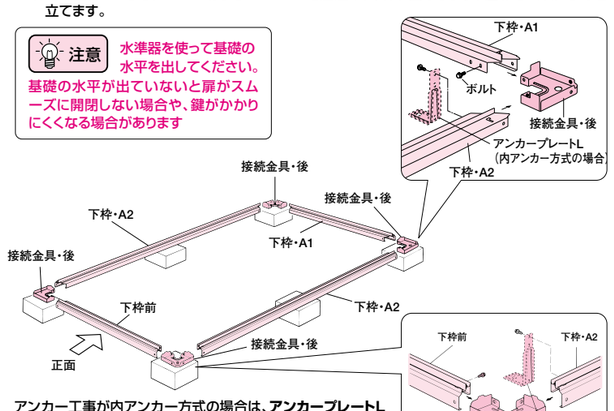


【基礎寸法図】

2 下枠の組立

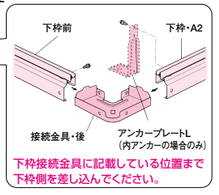
①基礎ブロックの上に図のように部材を並べます。
②**接続金具・後**に**下枠・A2**および**下枠・A1**を差込み、ボルト止めします。
③**接続金具・前後右**に**下枠前**および**下枠・A2**を差込み、ボルト止めします。左側も同様にして組立てます。

注意 水準器を使って基礎の水平を出してください。
基礎の水平が出ていないと扉がスムーズに開閉しない場合や、鍵がかかりにくくなる場合があります



アンカー工事が内アンカー方式の場合は、**アンカープレートL**を**下枠・A2**に下枠接続金具と一緒にボルト止めします。
床板を並べる前に取付けてください。

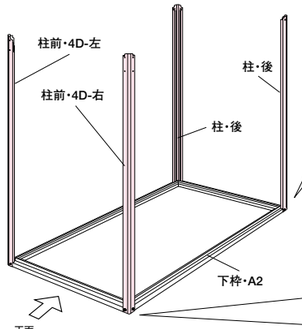
ボルト 8本

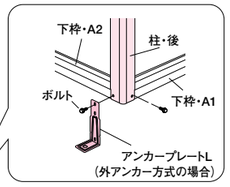


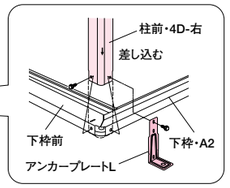
下枠接続金具に記載している位置まで下枠側を差し込んでください。

3 柱の組立

柱前・4D右、左の下端を下枠の切り欠き孔に差し込みボルト止めします。外アンカー方式の場合、同時に**アンカープレートL**を**下枠・A2**、に**下枠接続金具**と一緒にボルト止めします。**柱・後**も同様に差し込みボルト止めします。





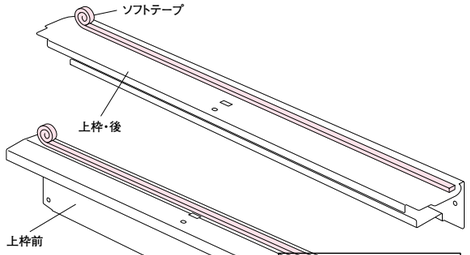


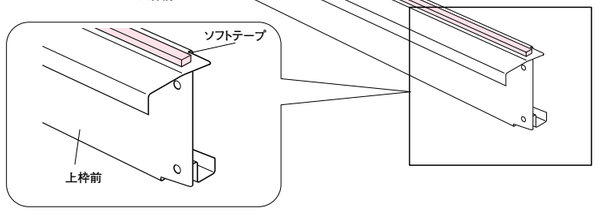
ボルト 8本

4 上枠の組立

①**ソフトテープ**を**上枠前・OD**および**上枠・後**に貼付けます。

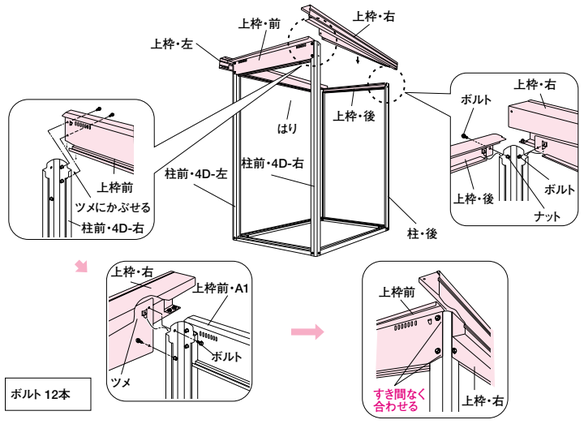
注意 ソフトテープはしっかりと貼付けてください。





②**上枠前**を**柱前・4D右、左**のツメにかぶせて、ボルト止めします。
上枠・後のツメを柱・後に引っかけ、ボルト・ナットで止めます。
③**上枠・右、上枠・左**も同様に取付けます。

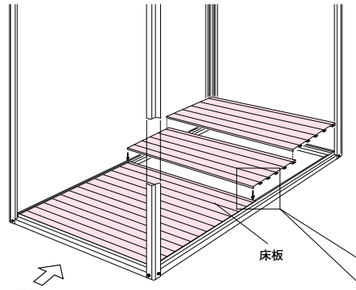
注意 柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。



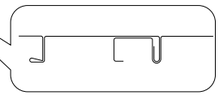
ボルト 12本

5 床板の組立

①**床板**を一方の端（どちらからでもかまいません）から順に並べます。
重ね部分を図のようにミゾにはめ込み並べます。

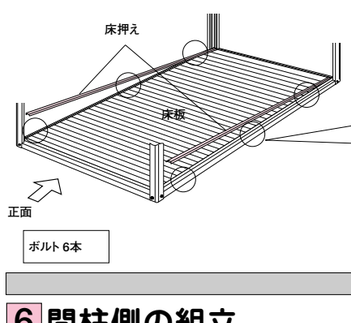


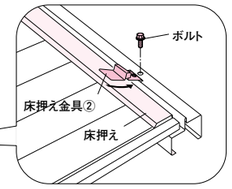
床板の重ね方



②**床押え**を**床板**と**下枠**の間にはめ込んで**床板**の上に載せます。

床押え金具②で**床押え**を固定します。（6カ所）

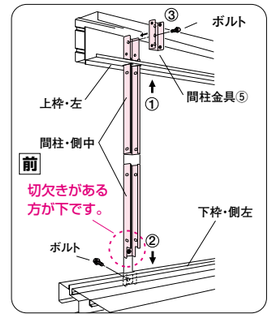




ボルト 6本

6 間柱側の組立

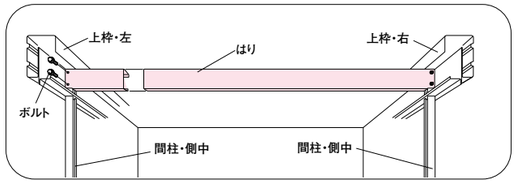
①**間柱・側中**の上端を**上枠・左（右）**に、差し込みます。
②下端を**下枠・側左（右）**に差し込みボルト止めします。
③上端に**間柱金具⑤**をはめこみ、中央の孔で内側からボルト止めします。

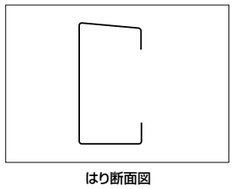


ボルト 4本

7 はりの組立

はりを両側の**間柱・側中**の上にのせてボルトで止めます。





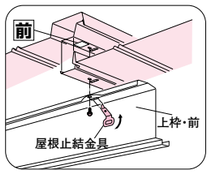
はり断面図

ボルト 4本

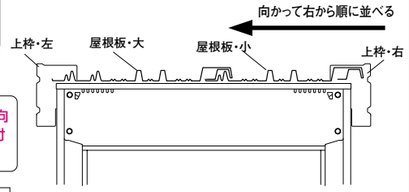
8 屋根板の取付け

①**屋根板**は、物置に向かって右端から**屋根板・小**を左端に**屋根板・大**を取付けます。
この時**前**のマークの入っている方を前にします。
②隣同志の屋根板の**角孔**と**上枠・後**の**角孔**に屋根止結金具（2ヶ所）を通しボルトで仮止めします。**上枠前**も同様に仮止めします。

注意 ソフトテープを破損しないように屋根を取付けてください。



ワンポイント 屋根止結金具は、上枠・後から先に取付け仮止めします。
屋根を全て取付けた後、ボルトを締めこむと取付け易くなります。



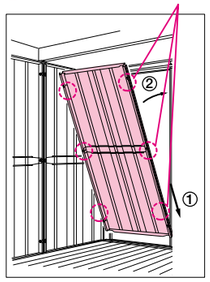
注意 屋根止結金具の向きを確認して取付けてください。

ボルト　2本
屋根止結金具　2コ

9 袖壁・壁パネルの取付け

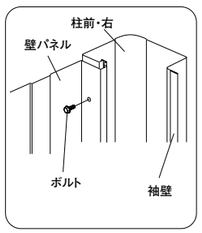
①室内から**壁パネル**をはめ込みます。下を先に入れて、上をはめ込みます。
②上下中央の3ヶ所を**壁パネル止結金具**でボルト止めします。柱前と固定する側面の箇所は壁パネル止結金具は使いません。柱後部と袖壁を固定する箇所は壁パネル止結金具でボルト止めします。
③**袖壁**は壁パネルと同様に取付けます。

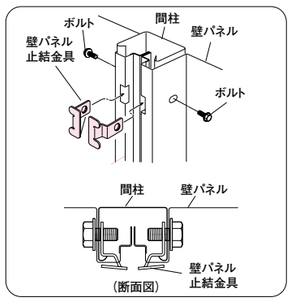
◌は壁パネル止結金具固定箇所



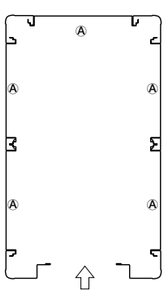
注意 壁パネルは上下がありますので注意してください。壁パネルと下枠に三角形状のすきまが発生したり隣同士の壁パネル止結金具の角孔が上下方向にずれる場合は、基礎の水平、本体の立ちを確認してください。

ワンポイント 壁パネルが取付けにくい場合、屋根止結金具のボルトを緩めると取付けやすくなります。

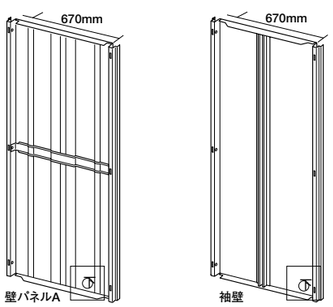




壁パネルの取付位置



壁パネルの種類



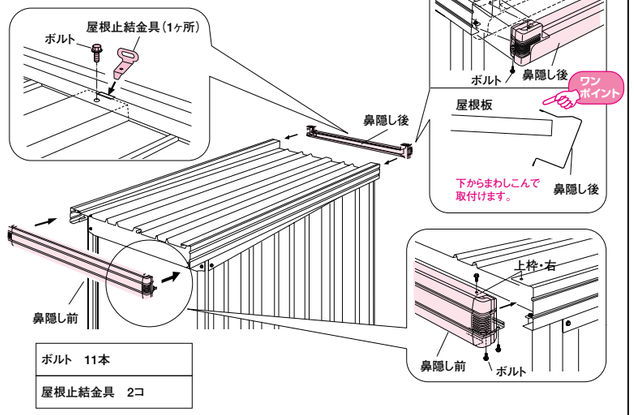
表示のある方が下です。

ボルト　30本
壁パネル止結金具　24コ

10 鼻隠しの取付け

注意 オプショントイを取付ける場合は、「オプショントイセット」組立説明書を先にお読みください。

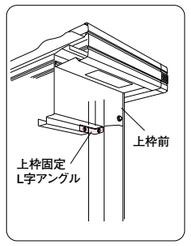
①**鼻隠し前**の両端を**上枠・右**、**上枠・左**に差し込み、ボルト止めします。
②**鼻隠し後**も同様に取付けます。
③**屋根止結金具**を使って**鼻隠し後**を**屋根板**にボルト止めします。



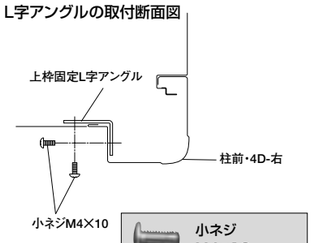
ボルト　11本
屋根止結金具　2コ

11 上枠固定L字アングルの取付け

①**上枠前**と**柱前・4D-右**を**L字アングル**にて固定します。



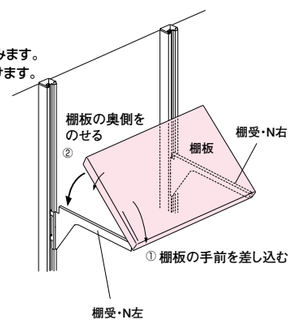
L字アングルの取付断面図



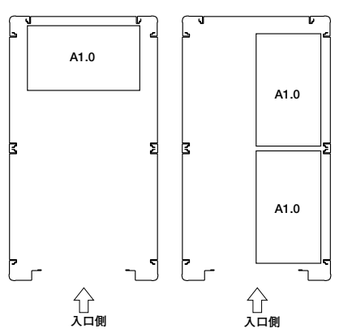
小ネジ M4×10

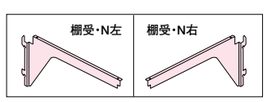
12 棚板の取付け

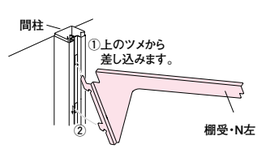
①棚受を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
②棚板を棚受の先端に差し込んでから取付けます。
（標準で棚板A1.0が2枚付いています。）



棚板が取り付けられる位置



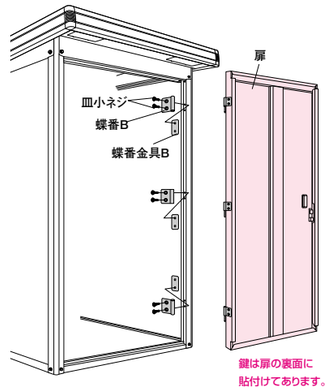




下のツメを差し込み角孔の下端まで棚受を押し下げます。

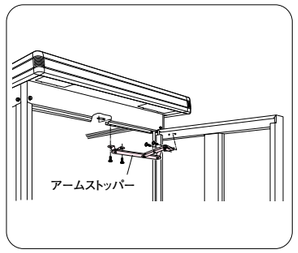
13 扉の取付け

①柱前・4D-右に蝶番を付属のネジ（皿ネジM4×14）で取付けてください。
蝶番Bと蝶番金具Bで柱前・4D右をはさみこむようにして固定します。

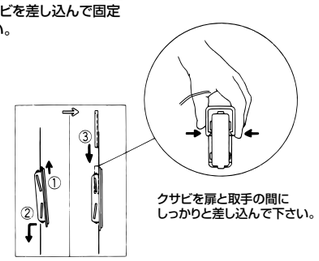


鍵は扉の裏面に貼付けてあります。

②扉側の蝶番を柱・4D-右側の蝶番に差し込み、扉を取り付けます。
③アームストッパーを付属のネジで取り付けます。

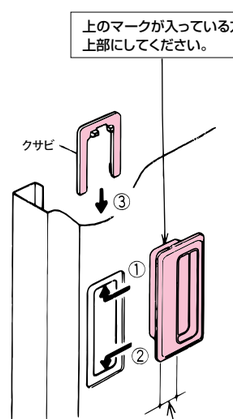


④取手を取り付けます。取手裏側の上のマークが入っている方を上部にして、クサビを差し込んで固定してください。



クサビを扉と取手の間にしっかりと差し込んで下さい。

上のマークが入っている方を上部にしてください。

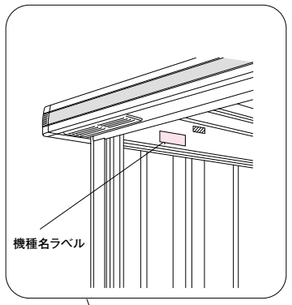


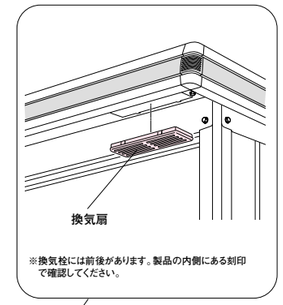
幅の広い方を扉の外側に向けてください。

14 その他の部品取付け

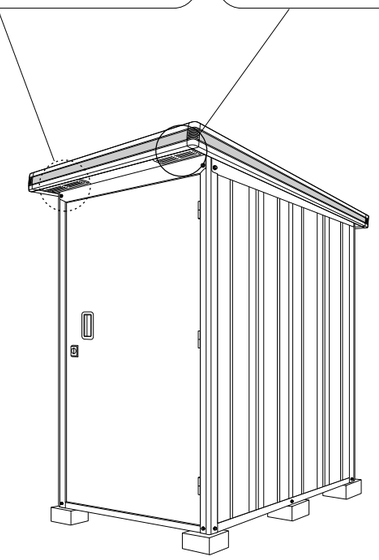
①取扱説明書に同封の対応する**機種名ラベル**を上枠左に貼ります。
②**換気栓（左右共通）**をはめ 込みます。

注意 機種名ラベルは必ず貼付けてください。





※換気栓には前後があります。製品の内側にある刻印で確認してください。



15 建付けの調整

①基礎の水平が出ていなかったりすると、扉と下枠、又は、扉と柱がすれる場合があります。その時は、下枠（前）のボルト（四カ所）をゆるめて、扉の建付調整を行ない、ボルトを締めなおしてください。
※上記の要領で直らない場合は、基礎の水平を直してください。

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。
施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

(0815(H))
ヨドコウ
淀川製鋼
(2008.2月制作)